

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	海田町立海田中学校	校長	河北 光弘	生徒指導主事	小田 一治
-----	-----------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『体育発表会』
--------------	---------

取組における育てたい資質・能力					
------------------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
異学年の良好な関係	3	主体性・積極性・責任感	2	自己肯定感	1

取組のねらい					
---------------	--	--	--	--	--

体育祭に主体的に参加することによって、3年生は「リーダー学年としての意識」、2年生は「先輩として1年生に見せるべき姿」、1年生は「海田中学生としてのあり方」を学ぶ場とする。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『リーダーと教員の連携』
----------	-------------------------

<p>体育祭で行う入場行進、集団演技などを3年生の団長や応援リーダーが中心になり、1・2年生に指導した。また、学年の競技に関しては各クラスのリーダーが中心となり、学級の生徒をリードした。それぞれの練習の前後に、クラスリーダーと教員とがミーティングを密に行い、より効果的な練習を行うことができた。また、3年生は全体練習にかかわる道具の準備なども積極的に行った。</p>	<p>生徒に様々な取組を任せる上で演技の内容が全校生徒にとって難しすぎたり、簡単になりすぎたりないように、保健体育科や3学年の担任を中心にリーダーと連携を取り合った。その結果、体育祭の各練習は生徒のやる気を引き出すことができ、非常に充実したものとなった。生徒の実態を把握した上で、生徒の自主性に委ねつつ、適時的に指導を行うことにより、生徒、教員ともに前向きに取り組むことができた。</p>
---	--



取組の成果と課題					
-----------------	--	--	--	--	--

アンケートの質問項目「自分にはよいところがあります」では、肯定的評価が、令和3年7月の76.1%から、令和3年12月では79.1%となった。このことから、特別活動等の取組を工夫することにより、生徒の自己肯定感が高まったと考えられる。また、1・2年生の体育祭を終えての感想には、3年生の活動に対する感謝の声が多く見られた。体育祭の取組によって生徒同士、あるいは生徒と教員が一体感をもつことができた。このよい雰囲気は体育祭後も続き、文化祭では、各学級での取組に生かされた。

